

商品名 アムロジピン錠10mg「YD」 医薬品基本情報

薬効	2171 冠血管拡張剤	一般名	アムロジピンベシル酸塩錠
英名	Amlodipine	剤型	錠
薬価	12.80	規格	10mg 1錠
メーカー	陽進堂	毒劇区分	(劇)

アムロジピン錠10mg「YD」の効能・効果

高血圧症、狭心症

アムロジピン錠10mg「YD」の使用制限等

1. 類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
3. 緊急な治療を要する不安定狭心症	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
4. 過度に血圧の低い、心不全、重篤な腎機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アムロジピン錠10mg「YD」の副作用等

1. 劇症肝炎、無顆粒球症、血小板減少、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、急性腎障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、白血球減少、房室ブロック、徐脈、めまい	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
3. 腹水、徐脈、気分動揺、不眠、錐体外路症状、肺炎、関節痛、筋肉痛、勃起障害、排尿障害、血小板減少、過敏症、多形紅斑、血管炎、血管浮腫、女性化乳房、脱毛、鼻炎、体重増加、体重減少、疼痛、皮膚変色	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明

4. ALT上昇、AST上昇、肝機能障害、ALP上昇、LDH上昇、浮腫、ほてり、熱感、顔面潮紅、動悸、血圧低下、めまい、ふらつき、頭痛、頭重、心窩部痛、便秘、嘔気、嘔吐、BUN上昇、発疹、全身倦怠感	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
5. γ-GTP上昇、黄疸、胸痛、期外収縮、洞房ブロック、房室ブロック、洞停止、心房細動、失神、頻脈、眠気、振戦、末梢神経障害、口渇、消化不良、下痢、軟便、排便回数増加、口内炎、腹部膨満、胃腸炎、筋緊張亢進、筋痙攣、背痛、クレアチニン上昇、頻尿、夜間頻尿、尿管結石、尿潜血陽性、尿中蛋白陽性、代謝異常、血清コレステロール上昇、CK上昇、高血糖、糖尿病、尿中ブドウ糖陽性、赤血球減少、ヘモグロビン減少、白血球減少、白血球増加、紫斑、そう痒、じん麻疹、光線過敏症、歯肉肥厚、しびれ、脱力感、耳鳴、鼻出血、味覚異常、疲労、咳、発熱、視力異常、呼吸困難、異常感覚、多汗、血中カリウム減少	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
6. 肺水腫、妊娠期間延長、分娩時間延長、ショック、著しい血圧低下、反射性頻脈、非心原性肺水腫、心筋梗塞、不整脈、心室性頻拍	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アムロジピン錠10mg「YD」の相互作用

1. 薬剤名等：降圧作用を有する薬剤

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に作用を増強	指示	注意

2. 薬剤名等：CYP3A4阻害剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝が競合的に阻害	指示	注意

3. 薬剤名等：CYP3A4誘導剤

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝が促進	指示	注意

4. 薬剤名等：グレープフルーツジュース

発現事象	本剤の降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	グレープフルーツに含まれる成分が本剤の代謝を阻害し、本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

5. 薬剤名等：シンバスタチン

発現事象	AUCが77%上昇	投与条件	シンバスタチン80mg（国内未承認の高用量）との併用
理由・原因	-	指示	注意

6. 薬剤名等：タクロリムス

発現事象	血中濃度が上昇し腎障害等のタクロリムスの副作用が発現	投与条件	-
理由・原因	本剤とタクロリムスは、主としてCYP3A4により代謝されるため、併用によりタクロリムスの代謝が阻害	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.